

MetaMoJi 活用授業 学習指導案（コミュニケーション英語Ⅰ）

1 日 時 令和3年1月20日（水） 第1限（8：55～9：45）

2 指導者 高田 敏博

3 指導クラス 1年電気科（1年E組）

4 場 所 1年E組教室

5 学 級 観

明るく活発で、英語学習に対する意識が高い。あらゆる活動の場面で積極的に参加することができる。

6 科目／単元名 コミュニケーション英語Ⅰ／Look Cool on Your Street

7 使用教材 Vivid English Communication I NEW EDITION（第一学習社）

8 単元の目標

日本のファッションを世界に発信する写真家の英文を読み、日本のファッションが世界でどのように評価されているかを知る。また、MetaMoJi を使用して、各パートの復習問題に取り組む。

9 本時の展開

時間	指導過程	生徒の学習活動	教師の活動及び 指導上の留意点
5分	タブレット準備	タブレットを準備し、 MetaMoJi にログインする。	ログインできない生徒への 補助をする。
25分	<p>【MetaMoJi① Q&A】</p> <ul style="list-style-type: none"> Part2 の内容に関する質問を英語で記入する。書き問題を5問やり、その後、音声を聞きながら True or False Questions に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を使用しないで Part2 に関する5つの質問に答える。答える際には必ず主語・動詞の入った文で答える。 表現の仕方が分からない場合は、『?』ボタンをタップしてこちらに知らせる。また、終了した場合は『○』をタップする。 	<ul style="list-style-type: none"> モニターで生徒の活動状況を把握すると同時に、助けが必要な生徒には直接指導する。
15分	<p>【 MetaMoJi ② Feedback】</p> <p>全体での共有</p>	<ul style="list-style-type: none"> MetaMoJi の発表者機能を用いて、指名された生徒のシートをクラス全体で共有しながら自分の間違いを訂正していく。 	<ul style="list-style-type: none"> モニターで全体を見て、同じような間違いが多い問題を見つけて全体で共有する。
5分	課題の提出とまとめ		



【MetaMoJi 活用の意図】

- MetaMoJi を普段配布しているプリントの代わりに、ノートとして使用させることもできるが、まだタブレットを使い始めて間もなく、操作に慣れていない生徒が多いため、まとめの課題で用いることにした。こちらで用意した内容理解のまとめ問題プリントであれば、操作方法を確認・実践しながら内容を深く理解できると考えた。

<利点>

- 全体のモニタリングを行ないながら、生徒の進捗状況の確認と課題等が進んでいない生徒を適宜確認することができ、声掛けが容易になる。
- 発表者を指定することで、ある特定の生徒の考えや解答を全体で共有することができる。
- 生徒が書いた文法や表現に関してのエラーを容易に添削することができる。

【MetaMoJi 活用の成果】

- 多くの生徒が同じ間違いをしている箇所を素早く容易に確認することができ、それを全体で共有することができた。考えを共有して他人の意見を知ることで、さらに深い理解へとつながると考える。

【今後の課題】

- ノート機能として使用するには、やはりタッチペンがないと厳しい。かなり拡大して指でも書くことはできるが、拡大しすぎるとシート全体を見ることができないので、文字とシートのバランスを調整するのが難しい。
- タブレットによって起動に時間がかかるものや、ネットにつながらないものもあり、全体で授業をスタートしても、全員のタブレットが起動するまでに時間がかかる。次の授業で使用するのであれば、事前に授業前にタブレットを起動させておくよう指示する必要がある。
- すべての活動で MetaMoJi を使用するのは難しい。MetaMoJi の使用場面を精選する必要がある。本校のように、授業の内容すべてをプリントで進めているのであれば、すでに作成してあるものを PDF 化して MetaMoJi に取り込み、授業ノートとして使用できる。それ以外の場合において、MetaMoJi が使用できる場面としては、プレゼンシートの作成と発表、録音機能を使用しての音読テスト、教科書本文に関するまとめの演習問題、レッスンの導入において、グループワークとして活動する Brain Storming などに活用できると考える。
- いずれにしても、教員・生徒ともにタブレットと MetaMoJi をスムーズに扱えるようになるまでは、1 時間の授業で MetaMoJi を多用することは難しいが、積極的に使用し、活用していく必要がある。